



経営者は企業理念や事業経験で得た教訓など、学生にメッセージを送った

理念・夢・魅力…熱く 中小9社が参加

交流会には相模原市からケミカル電子、クラフト、日本油機、クライムエヌシー、エイト技工、日本サーモニクス、三光機械、共立の8社、東京都町田市から志成デタムが参加した。中小企業9社の経営者が企業理念や事業内容など、学生に伝えたいメッセージを10分間のプレゼンテーションで示した。

中小企業の魅力を訴えたのはケミカル電子の日向敏夫副社長。防錆剤の事業について説明しながら、日本サーモニクスの富崎英典会長は学生への期待として「志、情熱」を語った。日本サーモニクスの従業員は、志成デタムの代表である征弘社長は「メーカーになれることが夢。夢があるから困難にもチャレンジできるメンバーがいる」とアピールした。

また、共立の上野賢美社長は求める社員像を「会社を自分がつくつていくんだと言う気概をもつていてほしい」と要望。日本サーモニクスの

も、どんなことでも仲良
くやついていきたいという
願いを込めた」と説明し
た。三光機械の横原大社
長は「社員にはお客様
が第一、社長は二の次に
してほしいと言つてい
る。私の仕事は社員を大
切にすること」と自らの
役割を紹介。「世界最高
の小袋包装メーカーにな
る」と目標を示した。
自らの事業経験やそれ
をもとにした教訓を示す
経営者も、日本油機の市
川博章社長は中国や韓国
へ行つた時の経験を語り
を訴えた。

藤之良社長は今後のモノ
づくりについて「モノだ
けではなくその周辺にあ
る付加価値を求めてい
く」と説明し、「どうつ
くるかより何をつくるか
が重要」と強調した。ク
ライムエヌシー・ティーの高
橋百利社長は自動車メー
ラーなどの取引実績を示
しながら「技術ではなく
感動と信頼を売ってきた
ことが理解されたので
は」と解説。同時に、自
分を犠牲にしながらも他
者を思いやる心の大切さ

経営者 プレゼンテーション



「いい会社の条件 ～社員第一主義の経営～」

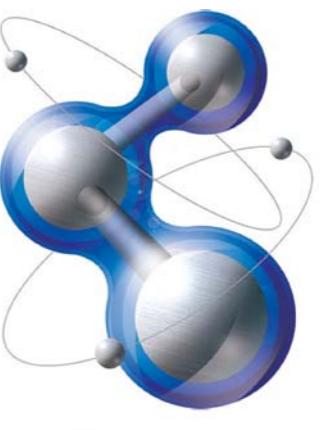
基 謂 講 會

法政大学大学院教授

司氏

モノづくり推進会議は2010年12月20日、相模女子大学（相模原市南区）でさがまちコンソーシアム、相模原市、さがみはら産業創造センターと共に「いい会社を『知る』 学生と会社経営者の交流会」を開いた。相模原市と東京都町田市にある中小企業9社の経営者と地元企業に关心のある学生約30人が参加。法政大学大学院の坂本光司教授の基調講演や、経営者による会社概要についてのプレゼンテーションを実施した。参加学生は経営者の話に真剣な表情で耳を傾け、交流の場では熱い質問をしていった。

相模原で開催



モノづくり推進会議

モノづくりへの挑戦

A formal meeting or presentation is taking place in a large hall. On the right, a man in a dark suit stands at a wooden podium, speaking into a microphone. He is gesturing with his hands as he speaks. In front of him, a long row of people in dark suits and ties are seated in rows of wooden chairs, facing the speaker. Some individuals in the audience are looking towards the speaker, while others are looking down at papers or their laps. The room has light-colored wooden walls and several circular holes near the top. A person in a dark suit stands near the back left of the audience.

坂本教授は自著の「日本でいちばん大切にしたい会社」に触れながら、「いい会社」について講演

ボランティア

高齢者に対する冷感促進
効率は低い

MONODZUKURI
モノづくり会議

モノづくり風土、文化の醸成
人口・環境・資源など制約への対応…

本会議は、わが国のモノづくりの可能性を再確認すると同時に、日本がモノづくり立国であることを国民の共通認識とし、人口、環境、資源などの厳しい制約に対応できるモノづくりのパラダイムシフトを促進、新しい価値創造に基づくMONODZUKURI文化の醸成を図ることを目的とします。

モノづくり推進会議は、モノづくりに携わるたくさんの方々をつなぎ、モノづくりの未来を展望、新たな価値を生み出すプラットフォームの役割を担います。「モノづくり風土、文化の醸成」「人口・環境・資源など制約への対応」…をテーマに、持続的に成長可能なモノづくり社会、世界から尊敬される日本ならではのモノづくり文化の醸成を目指します。

A hand-drawn diagram on aged, yellowish-brown paper. It features three sets of concentric, slightly irregular circles. The innermost circle is composed of three small dots in brown, light blue, and medium blue. The middle ring is a single, continuous light blue line. The outermost ring is a single, continuous green line. The paper has a textured, slightly wrinkled appearance.